公開用

AMED

課題名：職域における認知行動変容アプローチの検証と実装：AIを活用したデジタルメンタルヘルス支援システム（KOKOROBO）のランダム化比較試験と普及モデルの構築

代表機関／代表者：国立精神・神経医療研究センター／久我　弘典
分担機関：慶應義塾大学、九州大学、北里大学、合同会社ユニバーサル・ブレイン
研究期間：令和７年９月～令和10年３月

研究開発目的

- 職域における心の健康保持・増進と一次予防の実現。
- デジタルメンタルヘルス支援システム「KOKOROBO」を用いた、個人介入＋組織支援を統合した認知行動変容アプローチの有効性と社会実装可能性を検証。
- 国内エビデンスの不足を補い、継続率・費用対効果・B to B/B to B to C 実装など、DeLiGHT 指針のHQ/FRQ課題に対応。

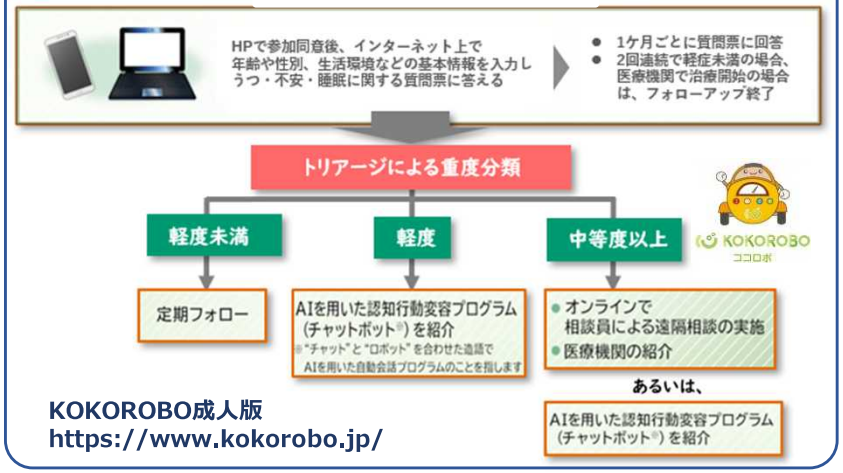
取り組み

- 介入の手順書・運用システムを作成し、統計デザインと解析計画を確定。プロトコルを策定。
- 「KOKOROBO」を用いた個人介入＋組織介入のクラスターRCTを実施。主要評価はワークエンゲージメント等。
- 企業向け実施マニュアルを作成、デジタル実装やビジネスモデルの検討。
- 介入効果の解析、費用対効果の算出、チャットボットの改良、アルゴリズムの高度化を進行、ビジネスモデルを提案。
- 最終的に普及モデルを構築し、社会実装と健康経営の推進を図る。

今後の展開

- 指針・エビデンスの観点から、国内RCTの成果をDeLiGHT指針に還元。
- 一次予防とアクセス格差の是正を目指し、職域のメンタルヘルス水準の底上げに貢献。
- 国産デジタルメンタルヘルスシステム「KOKOROBO」を核として、
  B to B/B to B to Cの市場展開を促進し、持続可能な健康経営を実装。

KOKOROBO



KOKOROBO成人版
https://www.kokorobo.jp/

オンラインメンタルヘルスプラットフォーム

オンラインメンタルヘルスプラットフォームの開発と社会実装
https://ncnp.mentalhealth-platform.jp

2025年10月時点